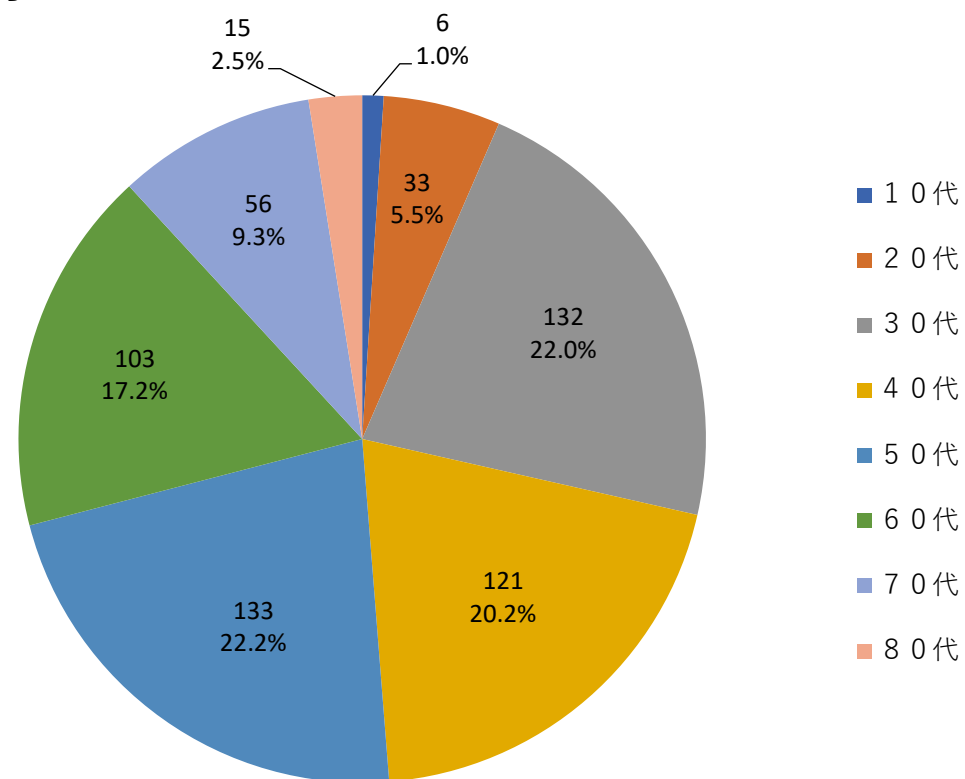


第1回eモニターアンケート 「生活保護における外国人への対応の問題について」

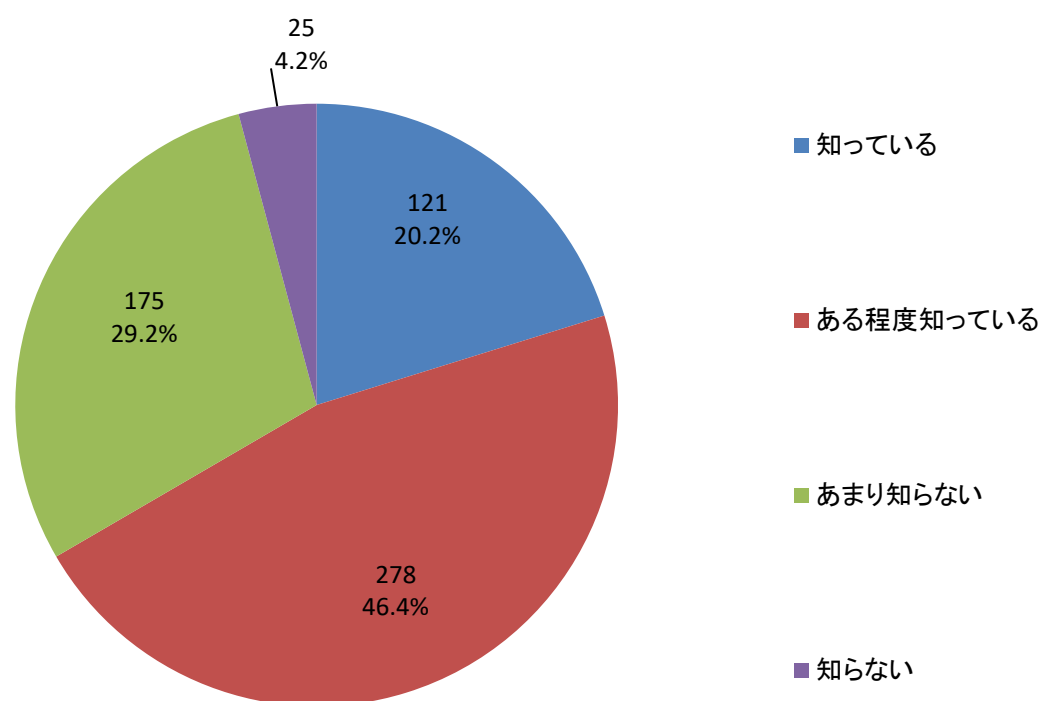
実施期間 令和6年5月31日 ～ 令和6年6月7日
回答数 599 人

※単位は全て、円グラフは人（割合）

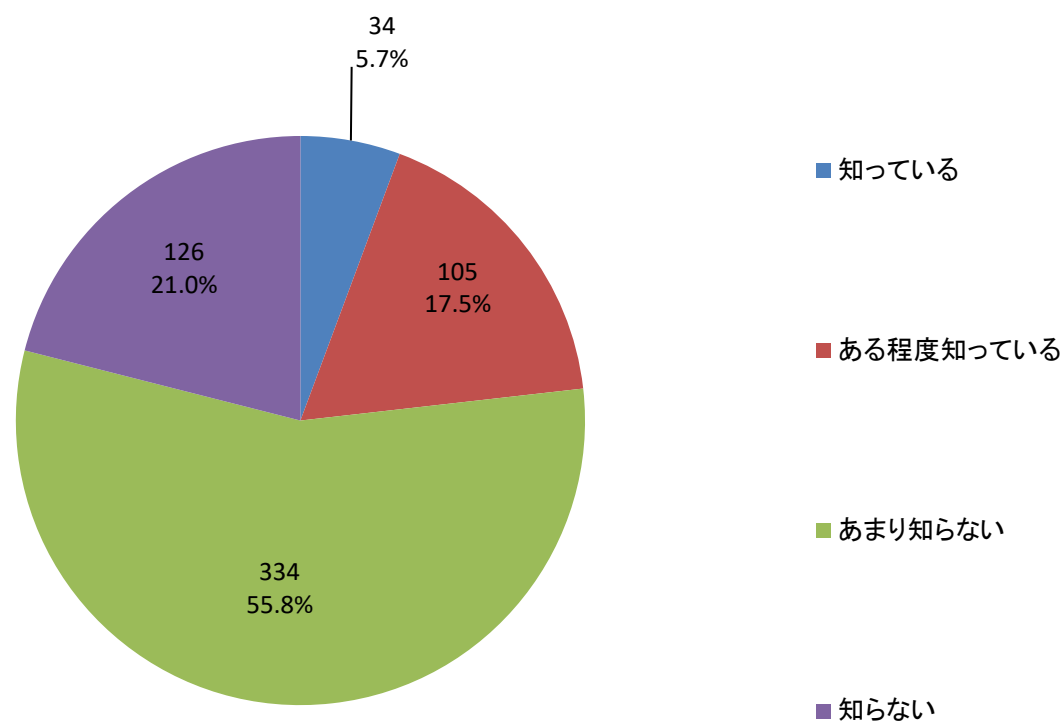
世代別



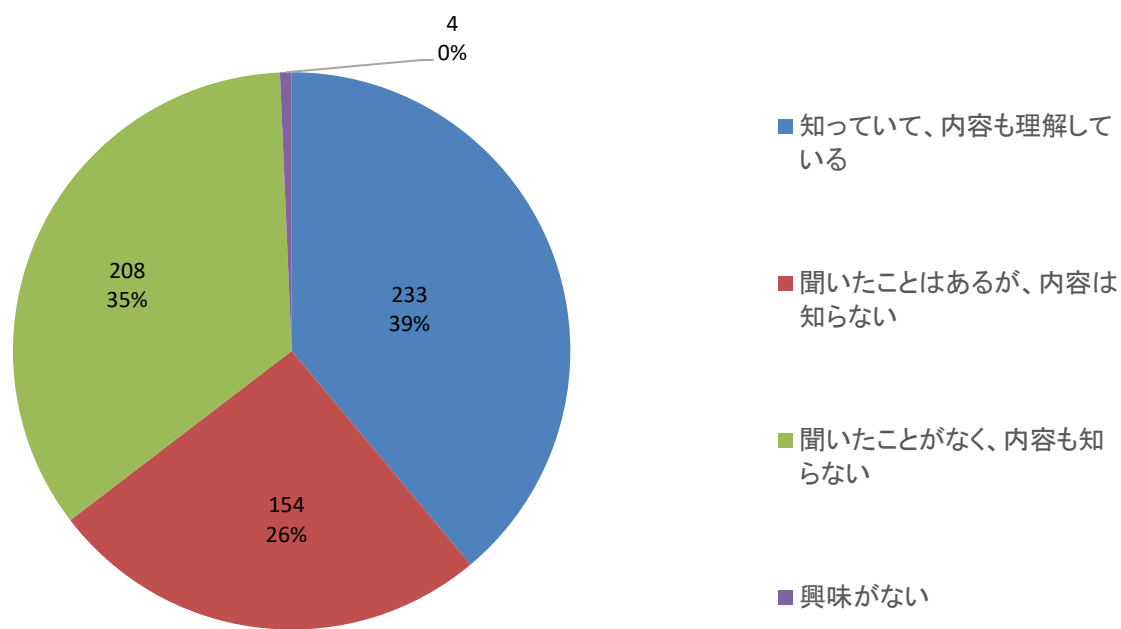
問1:あなたは、生活保護制度について知っていますか



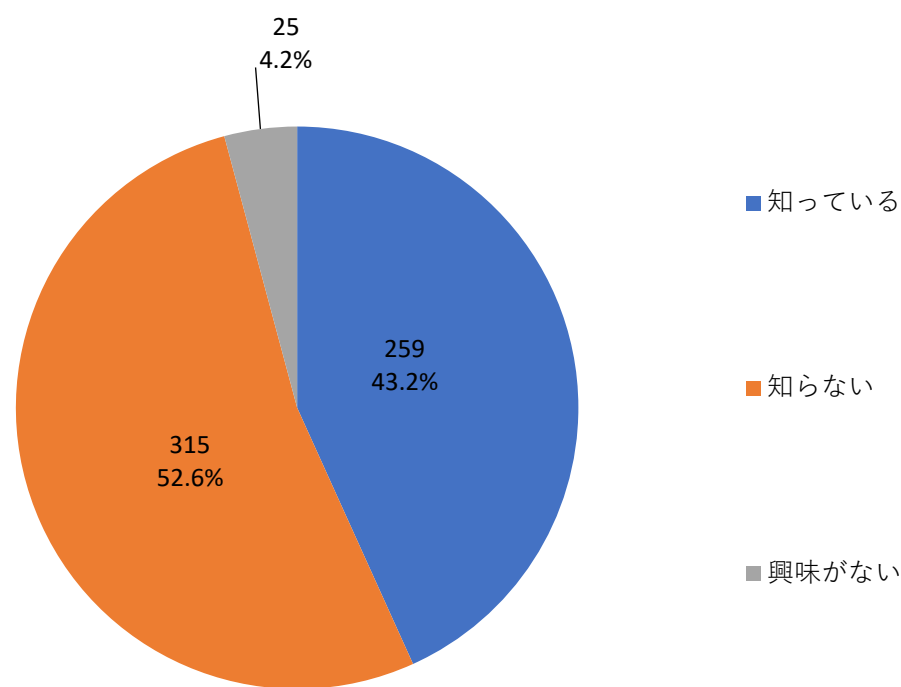
問2:あなたは、生活困窮者自立支援制度について知っていますか。



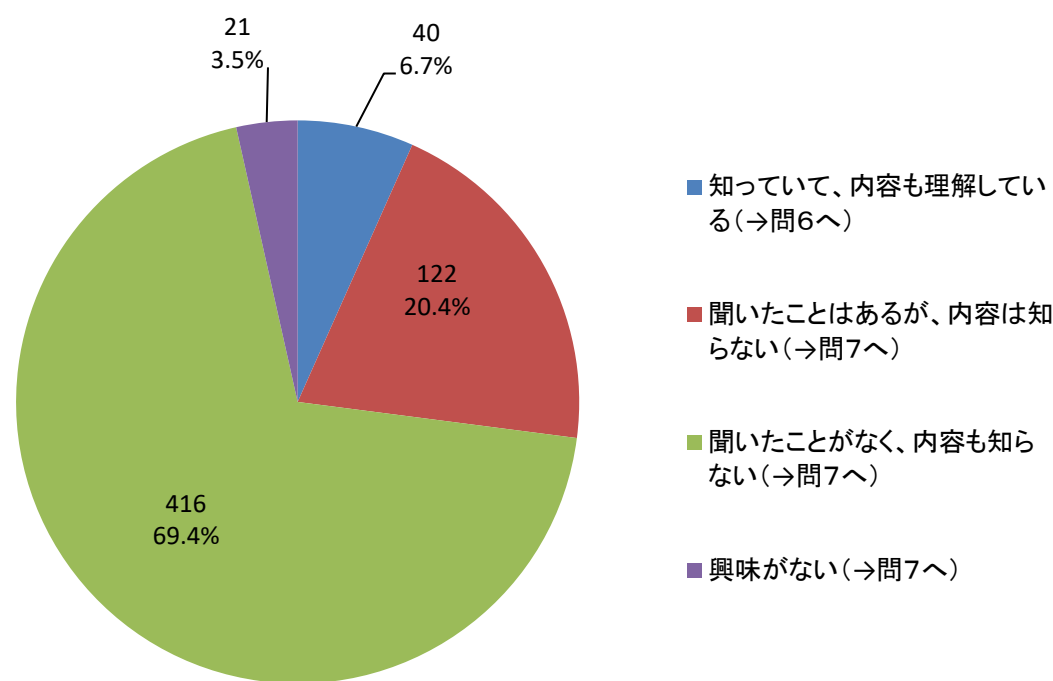
問3:あなたは、本市職員が外国人の方に不適切な対応をし、新聞等で報道された件について知っていますか。



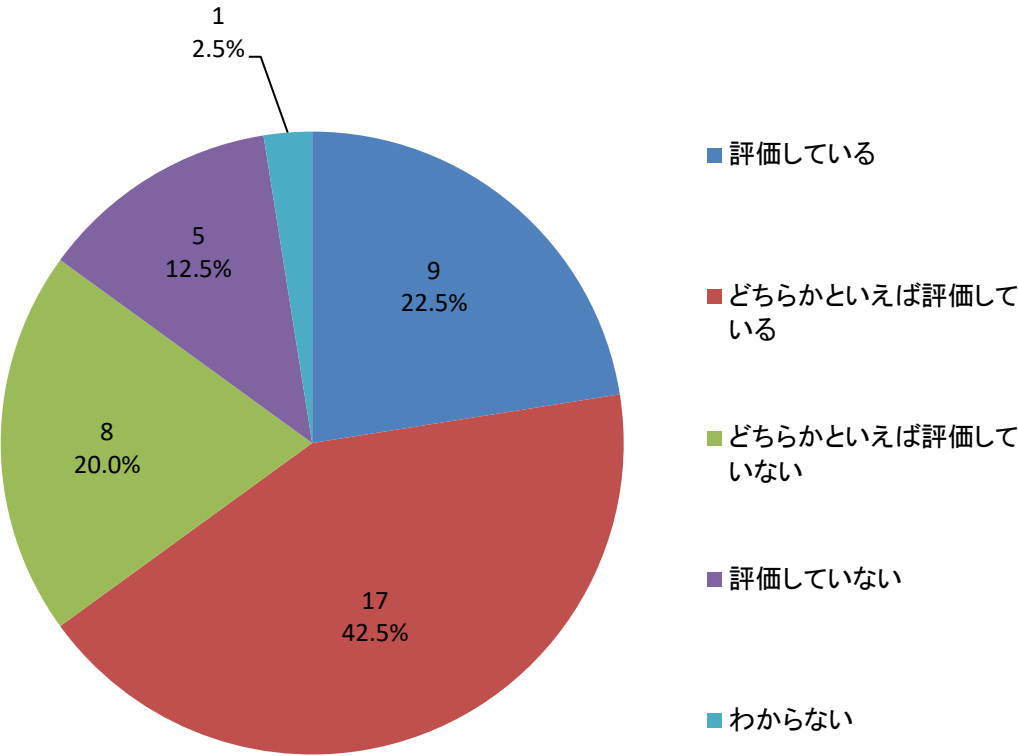
問 4：あなたは、外国人の生活保護受給について、
受給要件に該当すれば受給できることを知っていますか。



問5: あなたは、第三者委員会からの再発防止に向けた提言に基づく「改革プラン」について知っていますか。



問6:あなたは、この「改革プラン」について、どの程度評価していますか。



問7：この「改革プラン」について、意見等があれば自由に記入してください。

報道で見聞きしたことでの判断だったため、報告書を読むまでは一方的に職員の方々が高圧的だったのかと思っていたがそうばかりではないことがわかった。あまりに締め付けがきつくなると今度は職員が萎縮し、カスハラのようなものも増える気がするが、報告書の最後にあるようにこれを機に原点に戻って自らの職務を果たしてもらいたい。

このアンケートをきっかけにして本件のニュースについて調べました。組織的な改革も効果があるかもしれませんが、担当者のモラルの問題にも感じられました。この対応に必要以上の大きな人数と時間をかけることでより余裕が無くなり、同じようなことが繰り返されるような状況にならないことを願います。

研修などをしっかり行って制度を理解し、再発防止に心がけることが重要なので差し当たってこのプランを実行すればいいと思う。運用して見直しも必要である。

このアンケートで第三者委員会を立ち上げた旨知りました。専門的知識が広くあり経験も重要で、一緒にいろんな可能性を寄り添い探せたら良かったのですかね。難しい案件は担当者1人で抱え込まず職員間の連携も重要ですね。安城市の今後の対応を見守りたいと思います。様々な言語対応の翻訳会話アプリも導入済みなののでしょうか？

改革プランは実行し、見直し、改善が必要になると思います。

難しい問題が生じた時のために、弁護士を設置するのは必要だと思いますので、とてもよいと思います。選ぶとき、しっかり調査して、きちんとした人を選んでほしいと思います。

いろいろなパターンに合わせた対応方法を考えており、良いと思います。

SNSで話題になっていたこの件については把握していたが、その後調査と報告書、改革プランの提出があったことは今回初めて知りました。おそらく市役所では定期的に人事異動もあり、異動のたびにその部署の専門知識を習得する必要もあり大変な仕事だと推察します。今回の改革プランを一時的なものではなく、今後配属される方々も“自分ごと”として有効活用していけるような体制を作ってもらえると良いと思いました。

改革プランについて簡単にどんなものかまとめた一文が欲しい。わざわざURLを開いたあとさらに内容を確認するのは大変。

この改革プランが、なんの根拠に基づいて作られているのかわからない。根拠法令をはっきり示した方がいい。

早急に第三者委員会を設け「改革プラン」を策定し、再発防止に取り組んだ事は大変良い事だと思います。この「改革プラン」を拝見しましたが、提言→取組→スケジュールと順序立ててプランされており、分かりやすかったです。

外国人への対応問題の後、改革プランを作成したことは、素早い対応だったと思う。難しいけれど、まずは「外国人」という括りの前に、人と人として対等な関係性を持って対応されることを望む。

詳しく書かれていて、知らないことがたくさんあることが分かった。

改革プランの内容の良し悪しは、現場で実際に機能させてみなければわからないと感じる。表面的な改革に止まらないように、PDCAサイクルを回しながら改善点を見出し、柔軟に改善してこそ真の改革になると思う。改革プランについて実行するのは個々人であり担当者の理解度で対応が異なってはいけない。

1 援助の専門性や質を高める研修を充実・実施について

・市の取組としてよいと思います。ただ「～に関する研修」という記載が多く、内容が分かりづらい印象を持ちました。外部研修がメインかと思いますが、より実践的な内容を盛り込んだ研修を期待します。

2 生活保護に関する相談体制や組織体制の整備

・適正化・ルール明確化・配置に関して、色々な視点から検討されるとのことで良いと思います。この件に限らずですが、質の向上・改善をし続けることを期待します。

3以降についても良いと思いました。取組応援しています。

人権は保護されるべきもので、当然の改革プランだと思います。

研修が充実しており良いと思った。
ここまでやらないと改善できないのでしょうか？多くの市職員はできていたはずなのに、ほんの一部の人のためにするには大袈裟で多くの時間と費用をかけるのは無駄が多くないでしょうか？その費用の一部でも別の本当に必要な予算に回すべきと思われます。
改革プラン策定の発端となった事案の振り返りを踏まえ、いち担当者のみに責を追わせるのではなく、組織外の有識者のサポートを得ながら進められる体制づくりを進言するなど、仕組みで応えようとする点は評価します。一方、職員の方々一人一人の規範は求められるものの、職員あたりの業務量・権限付与が適切だったのか？など、組織体制としての振り返りが弱いと感じます。いくら研修を充実させても、担当者の能力が最大限発揮できるよう心理的安全性や負荷がコントロールされる状態になれば冷静な判断はできないのでは？と思います。今回の問題が起こった職場はどういった環境にあって、「なぜこのような発言がでてくるような組織になってしまったのか？」「なぜその発言が周囲から看過されない状態になっていたのか？」という点まで掘り下げられると、小手先の対策ではなく、真に組織として変わろうとする姿を示せるのではないかと、思います。
要約しか確認していないので、以下の意見が事実に基づいていないとしたら、すみません。「前例の少ない案件の判断をケースワーカー任せにして、ケースワーカーの判断を組織として検証できなかったこと。」に対する再発防止策の一つとして「援助の専門性や質を高める研修を充実させ実施すること。」が挙げられているが、研修の対象が不明確です。「…組織として検証できなかった」なら研修対象は組織全体だと思います。もし、研修対象が「ケースワーカー」だけなら不十分だと思います。
初見ですが、よいプランだと思いました。やはり、応対する人のコミュニケーションが第一と思います。適切な人材の確保と配置、育成は大変と思いますが、頑張ってくださいたいです。
改革プランの内容を確認しましたが、内容がきめ細かく実行が大変だと感じました。
市職員に対し、担当する職務の法的理解の教育・訓練の実施、実務経験者のサポート体制の充実など改革プランに盛り込まれているので、有効に機能し、他の職務に対しても同様の問題が発生しないように部署間の横の連携を期待します。
安城市でそのようなことがあったことを知りませんでした。残念に思います。起こったことはなくならないので、しっかりとした対応をして頂きたい。改革プランを作成することよりも、その後、適切に公表し、実行していくことが重要だと思います。
プロジェクトチームが設置されて良かったと思います。上手く運用されることを期待します。
生活保護の窓口だけではなく、他の課でも利用できるように、応対のマニュアル化ができればいいと思う。
各種研修を行ない、視点を变えて広い視野で考えていくことはとても良いことだと思います。また、担当者任せにせず、関係各所および上席者の介入も時間はかかるが必要性感じる。ただ、特定の方や外国人に過剰対応するのではなく片寄らないようにしなくてはならない。基準と運用は常に改善し効率良くに業務を行っていただきたい。
生活保護担当に社会福祉士や精神保健福祉士等専門職を配置することという再発防止策のひとつはとても評価する。
この事件、安城市民でありながら全く知りませんでした。お恥ずかしい。今読ませていただきました。完全に私的な意見ですが、職員の人のお気持ちもお察しします。人間、偏見や思い込みなど持ってない人なんて居ないと思いますから。それに本当に困っている人に生活保護費を出すのは当たり前だと思いますが中には不正受給してる人も居るでしょうから職員の方も見極めが難しいですね。なので今回の事を踏まえての改革プランで細かく専門知識のある人に分けて且つ外国人通訳もすぐに配置することはとても良いと思いました。あとその中でも困ったら弁護士に相談できるというのも職員の方の安心感にも繋がって良いかと思いました。
市長以下、ことなかれ主義、お役所仕事と感じた。我が事として捉えていない。役所は数年で担当が変わり、いろんなことに責任を取らなくていいから、そうなるのだと思う。

まずは、日本の報告書は読みにくい。文言はかたいし、明朝体の漢字が並ぶ。小学生でも読めるような資料を作る方が、市民も職員も理解出来るのではないのでしょうか。全容はわかりませんが、Aさんにも問題が多々ある様に感じましたし、公表された職員のメンタルも心配です。改革プランは、複数の機関で対応に当たることによって正確性を高めつつ、1人の職員に負荷が集中しないものであってほしいと思いました。

外国人との共存が当たり前になってきた日本。外国人への対応は急務になって来ています。今回の問題に対して早急に改革プラン対策をしたのは良かったと思います。後は、職員へ周知と理解度の把握、窓口対応の再教育。外国人問題だけでなく様々な問題に対して迅速な対策対応が出来る市であって欲しい。

全く知らなかったの、今回のアンケートを受けて目を通しました。再発防止に向けた市の取り組みは、すぐに実効性を持たないものもあるものの十分に計画されたものと感じました。ただ、社会福祉主事資格については、証明書があるわけでもなく大学時の社会福祉に関する3科目の履修のみでは、現場で対応できるのかどうか心配されます。プランにもあるような研修や近隣市との交流研修などにより、一層の知識と体験が求められると思います。また昨今の現状にも踏まえた対応を始め、多文化共生の取り組みも市全体で求められていると感じます。別の視点ですが、人事自体が3年で移動するのは職員にとっても負担であり、専門的な知識が必要とされる部署ばかりなので、経験年数を多くするような人事体系も必要になっているように思います。

もう少し具体的なアクションが分かるようにして欲しい。

一通り読んでみましたが、これはいいぞと思われるものは見つかりませんでした。とおりの内容でした。改革プランと呼ぶにはお粗末ではないのでしょうか。

難しいのでよく分かりません。

改革というほど大袈裟なことをやる必要はないと感じた。勉強会レベルで実施すればよいのではないか。無駄な予算を使っていると感じる。

アクションプランがかなりあるので実行計画を立てて確実にメンバーに修得もらえるように進めて欲しい。また人が代わっても問題が起きないように毎年研修や教育は実施して欲しい。安城市の悪いイメージを少しでも早く取り去って欲しい。

評価できるのではないかと思います。生活保護というものは、良くも悪くも人や時代によって対応も変化すると思うので、今後も定期的に担当部署だけでなく、全職員が、研修等で対応できると良いのかもしれないね。

第三者委員会報告書の提言に忠実に改善案を検討していることは評価できる。改善案の詳細については検討中であることはわかったが、検討結果をどのように報告し、審査されるのか具体的な日程および会議体の記載が無いよう受け取れた。

専門性を必要とする繊細な事案だと思うので、特に、新しくこの部署になられた職員さんへの研修やサポートなどが必要だと思いますので、研修などを強化されるのは、良いことだと思います。外国の方とのやり取りは、言葉のニュアンスなど難しい面もあると思いますので、改革プランで、より手厚い対応を出来るようになると良いなと思います。

2-2、4、5についてはとてもいいと思う。

自分は当事者でも関係者でもないの、改革プランの難しい内容を全部読もうと思わなかったし、読んだところで全て理解できるとも思いませんでした。

この問題について、第三者委員会を設けて真摯に向き合っているのは評価したい。

「改革プラン」の研修は大切なことですが、必ず研修を済ませた職員を（資格のある職員のほうが望ましい）窓口配属してください。また専門性が要求される窓口ですので、短期間で配置替えをするのではなくある程度長期間その部署に在るようにしてください。熟達していない職員に対してはすぐその場でフォローできる体制にしてほしいです。

研修や配置の工夫で努力をしても、実際に対応された外国人がどう受け取るかで変わってしまうので、難しい問題かと思っています。それでも、これだけの対策を行った上での対応というのを少しでも表すためには、改革プランは必要性があるのかなと思いました。

知らない人もいると思うのでもっと広くPRするべきだ。

問 8 : 生活保護・生活困窮者自立支援制度について、意見等があれば自由に記入してください。

生活保護の受給が増えていると聞いています。また、外国人の受給も多いと聞いています。その方たちができるだけ早く自立できるように支援をしていただけるようお願いいたします。また、不当受給のないように、市民への生活保護・生活困窮者自立支援制度についての周知をお願いいたします。

複雑です。働かないで税金から大金を受給出来るのはずるいなと思う反面、病気や様々な理由で受給金が生きる為には必要なお金だと納得する面もあります。すでに実施しているかもしれませんが、心や体のケア、カウンセリングを充実させて仕事をする為の土台を作るプログラムがあるといいなと思います。

どういった状況・条件で利用できるのかをもっとわかりやすく発信をするべきだと思います。(もちろん日本語だけでなく、多国の言語で)

犯罪を犯すような外国人、家賃を滞納して平気な外国人、裁判所の退去命令に従わない外国人、スマホが使えない・転校したくないという理由で施設入所の提案を断りホテルに宿泊し続ける外国人に、税金から施し続ける、という現在の制度は、多くの納税者の理解を得られていないと思います。大元の問題は政府にあり、地方自治体は苦しい立場だと思います。最近特に、外国人問題が顕在化してきていると感じます。埼玉県川口市、蕨市など。私たちの安城市がそのような問題が起きないように、市民に最も近い行政機関として踏ん張っていただきたいです。

とにかく生活保護は最後の最後に頼るものだと認識してもらいたい。今回のケースでも、母子生活支援施設への入所を勧められているが、スマホや転校を理由に断っている。虐げられるものでなければ、制限は受け入れるべきである。生活がかかっているのだから普通そんなこと言ってもらえないし、現在の住居でも家賃未払いなのにアパート探してもどうやって家賃を払うのだろう。そういう人達へ生活保護を認めるのは疑問が残る。反対に本当に必要な人は自分で声も上げられない場合が多いと思う。職員の方々はそういった人達を見過ごすことなく救って欲しい。また外国人の生活保護者は滞在年数により考える必要があるのではと思う。日本人でずっと日本で働いていても生活保護は受けられないが生活が苦しい人よりも、滞在が浅い外国人が生活保護を受けることができるのはなんとなく納得いかない。自立支援を拒否する人に生活保護を申請できないようにしても良いと思う。

正しい申請が必要だと思う。また支援が必要なのに、申請をすることが出来ずにいる方もいるからなので、支援できるような働きかけが必要とも思う。

最近、知合の方が生活保護が必要となりました。(岡崎市の方ですが) ご兄弟でお住いの高齢の方で各々認知症や持病もあり、大変な暮らしをされていたようですが、ご近所の方が気付き、市に相談されたようです。持ち家(認知症のお兄さん所有)なので生活保護は受けられないと、本人達も周りの方も思われていたようです。ご近所の方やケアマネさんの尽力で持ち家でも生活保護を受けられるようになったようです。良く調べれば、持ち家でも生活保護が可能だと解るようですが、一般的には、解らないことが多くとても敷居が高いようです。いろいろなケースを想定して「こんな場合は、生活保護や生活困窮者自立支援制度のこの部分が使えますよ」と周知して欲しいです。私は「生活困窮者自立支援制度」を全く知りませんでした。そのほうが外国人の方にも解りやすいと思います。

本当に必要な人達には支援して助けてあげたいと思う。ただ、それを上手く利用して悪の心で使う人は許さない！

外国人の生活保護や支援などより、まずは日本人を保護、支援すべき。外国人は母国に帰ってもらった方が良い。ただでさえ物価高騰で生活費が上昇して大変なのに、日本人が納めてる税金を外国人に使わないで欲しい。

日本人含め生活保護受給者も真摯な気持ちで生活保護を受給すべきだと思います。そのためにも生活困窮者自立支援制度を多いに活用し、自立する人々が増えてくれる事を願います。

仕事もしないで、パチンコなどでお金を使い生活困窮者だと言う人もいるから綿密な調査や精査が必要だと思う。

私個人としては、報道そのものが真実だとは思っていないので、一方的に対応が悪かったとは思っていない。生活保護制度については、何か問題があった時に世間に出てくるだけなので、定期的に生活保護に関しての情報を広報などで知らせるのもいいかもしれない。

広く周知してくだされば。

すごく有難い制度だと思いますし、こういう制度があることで救われるかた実際救われたかたも沢山いることでしょう。自分だっていつ何が起こるかわからない人生のなかで非常に心強い制度だと感じます。ただ不正受給も時々、明るみになる。ずるい人間や、ずる賢い人間のために職員が振り回されるぐらいなら、もっと不正に対しての罰則を厳しくするとか職員に権限を持たせるべき。本当に日々、ご苦労様ですと伝えたいです。

このような制度について知らない人の方が多いと思いますし、このような制度の多くが分かりづらい印象を持っています。説明時の分かりやすさであったり、周知活動についてはこだわって取り組んでいただきたいと思います。また、実現可能かは分からないのですが、国の定めるルール内で市独自の取組等することができると面白いのかなと思いました。

ほとんど予備知識がないため大したコメントはできませんが、今回このアンケートのリンクのページを初めて見て、「生活保護とは」以下は、実際に生活保護を受けようとする人が読んで、抽象的な表現が多く、自分が条件に該当するのか、どうすればよいかわかりにくいのではと思いました。（どこかにもっと詳しい説明が書いてあるのでしょうか。ルールならばこのような文章の読み物に加え、箇条書きや定量的表現にするなど、正確に示すが良いのではないかと思います。）多分これを読んでも十分理解できずに窓口に来て、いきなり市職員とやりとりする中でトラブルが起こるケースは容易に想像できてしまいます。

名前は聞いたことがあるが詳しい内容は分からないので、また学んでおきます。

制度を無くすべき。税金の無駄遣い。

どんな人でも平等に与えられている権利なので、申請は一律で受け付けられるべき（審査はその後の問題）。今回の安城市役所のニュースは、「お役所仕事」といわれる最たるもの。不適切、不親切、極まりない。職員の教育を定期的に行うべき。

この制度に関して詳しくないので、もっと勉強したいと思います。

このような制度について知らない人の方が多いと思いますし、このような制度の多くが分かりづらい印象を持っています。説明時の分かりやすさであったり、周知活動についてはこだわって取り組んでいただきたいと思います。また、実現可能かは分からないのですが、国の定めるルール内で市独自の取組等することができると面白いのかなと思いました。

真贋は不明ですが生活保護でパチンコや違法薬物をなんて書き込みを目にします。一方で真に救済すべき方に支援が行き届いているかも疑問です。現金だけの支援だけでなく一部や全部をフードスタンプや電子マネーで給付してはいかがでしょうか？

興味がなく制度を良く知りませんでした。もし自分が困ったときに制度の概要程度は知っておきたいなと思いました。市から広報等でコラムのような形で分かりやすく発信してもらえたらいいなと思いました。

生活困窮者や生活保護受給者を支援する仕事をしているため、安城市の生活保護の窓口には何度か行っているが、今回の事件を聞いた時、まあ起こるだろうなと思った。知識が間違っている職員や、相談者に寄り添えない職員が多い。そのため、高圧的であったり、脅し、威嚇とすることも多々ある。職員の対応が怖くて窓口に行けなくなる受給者や体調を崩した障害者もいる。安城市は福祉職採用をしている訳ではないため、福祉の専門性がない職員が対応しなくてはならない。社会福祉士や精神保健福祉士を配置できないのなら、研修はしっかりするべきである。

今の制度でいいのではないのでしょうか。

外国人の保障はその国が責任を持てば良いと思います。国民それぞれが納得して運用しているシステムではないから個人での解釈が曖昧になるし、判断もややこしい。日本が負担するから悪用する外国人が出てくるし、制度のアウを突いて儲ける賢い人もいます。職員が毅然と対応出来るのが理想ですが、多くの場合そう上手くいかないのではないのでしょうか。今回は安城市の問題というよりは、制度そのものの問題だと思います。

過去の話ではありますが、仕事上生活保護者として認定されている方と接することが多々あったためその時に感じたことを意見として入力します。まず、生活保護を受けている方達の中には受給しなければ人生が続かないという方と認定基準を満たすために敢えて生活レベルを下げている人がいます。本当は仕事ができるのに出来ないという状況に持っている人が多いです。素直に働くより、面倒を見てもらった方が多くのお金が手に入るし、税金や医療費も免除されるし、思いのままだと仰る方もいました。そう言った費用を払わない分、そのお金をタバコやお酒の嗜好品に使う人が多過ぎます。お財布の中にお札を貯め込んでる人もいました。一生懸命働いて、生活レベルがギリギリなのに税金やその他生活していくために必要な諸経費を支払い、食事也十分に摂取出来ない人も見てきました。生活保護の認定基準に満たず生きていくのが必死だと聞き、生活保護制度って何なんだろうと思ったことを鮮明に覚えています。現在、物価高に伴い誰もが生活苦を感じる時代になっています。生活保護受給者数も増えているため、外国人だけでなく日本人にも定期的に改革案を出していただきたいです。見本にならない生活保護受給の日本人が多いと外国人も同調してしまいます。

端的に申し上げますが、外国人の生活保護申請を拒否したことは支持しています。人道上の観点から外国人が生活保護を受給できる仕組みは今の日本の状況から不適切だと考えます。生活保護は最低限度の生活を保証する制度ですので、病気や高齢で働くことができず生活できない方を税金で助けることは致し方ないと理解しています。他市ですが、医療系の職場で働いていますので、実際は働けそうであるのに生活保護を受給している人をお見かけすることがあります。車に乗っている方もいます。「病気だから働けない」を証明するために病院に来ているということもあります。私の税金がこのような人に使われてると思うと悲しくなります。現金給付の金額を減らし、現物支給にしてもいいと思います。生活困窮にも理由があるのです。自由に使えるお金が欲しいなら働いて生活保護を辞退すればいいだけです。

ケースワーカーさんが沢山の事例を抱え大変だと思います。制度に甘えている人がいる事も確かに聞きますので、難しいかもしれませんが精査が必要です。制度自体は素晴らしいものと思っています。

軽率な発言や差別的な発言は十分に反省すべきところである。しかし今回の添付資料で、生活保護制度自体がかなり複雑で対応が難しい制度だと思いました。生活保護制度の不正利用は社会問題となっていますし、厳しく判定する姿勢は今後も続けて欲しい。裕福ではなく目一杯働いてギリギリで生活している世帯もあるし、今回のことで市の職員の方々には及び腰になって甘くなつて欲しくないです。適切に支援が必要な人に、必要な分の支援がなされることを望みます。

安城市もカスハラ対策をしていくと良いと思います。

相談窓口で、住居や就労などあらゆる分野で相談にのり、支援者の前進できる一步を手助けできるようにして欲しいと思う。

以前、ひとり親の支援を受けている人から「支援を受けるために入籍をしていないが、同居している」と聞いたことがあります。生活保護についても、本当に支援が必要な人なのかどうか、きちんと調査をすべきだと思います。日本人、外国人問わず、本当に支援が必要な人に必要な支援が行き届くと良いと思います。

私も、年金生活なので大変ですがもっと大変な人もいると思うので制度があればいいと思います。

現行法でよいと思います。

時代に合わない状況増えていると感じる。国会での議論が必要か。

本当に支援が必要な方にはとても良いと思うのですが、中には偽装工作をして支援を受けている人もいると聞き、疑心暗鬼でいます。

不正受給などがあるかと思います。抜き打ち調査などは行っていますか？

いつ誰がお世話になるか分からない制度なので、当てはまる場合、速やかに支援を受けられる様にしてあげて欲しいです。支援される側も、申し訳ないと感じる事ないように、親切に言葉も選んで対応してあげて欲しいです。

生活保護を申請する人が支援が必要かどうかを見極める事は難しいことと思うので、担当職員の方のご苦勞をお察しします。生活保護に関しては、生活に困窮した末の最終手段というマイナスイメージがあります。今回の報道で外国籍の方も生活保護を受ける事ができると知りました。

健康であれば、働き納税が義務です。お金があれば、犯罪が減る気もします。なかなか日々働かない人を働かせる手伝いをするのは大変だと思いますが、単発でも、職業訓練でも、何か、社会と関わることが必要ではないかと思います。

ケースワーカーや職員の負担はとても大きいと思う。相談者や担当者に寄り添うと言葉だけだと簡単だが、少なからず入り込まなければならず、心身ともに疲弊してしまう。

生活困窮者自立支援制度について知らなかったので、まずは身近なところで制度について知る機会があればいいと思いました。

「改革プラン」を読んでいて、職員の対応について市に寄せられた意見が肯定的の多いというのが正直驚いたというか衝撃的だった。職員や市民の外国人に対しての偏見に対して考えさせられた。「国に帰れ」とか「ホームレス」とかいう発言が報道されて尚、職員の対応に賛成出来るのか疑問。日本人か外国人かに関わらず、支援制度をしっかりと徹底して二度とこのような、安城市民にとって恥ずかしい事を起こさないで欲しい。

必要な方がいることもわかっていますが、問題になることを恐れて何でもかんでも該当扱いにしてしまうのではと心配。言ったもん勝ちになってしまわないと良いと思います。

身近な人の周辺に生活保護を受けている人達があります。保護費を受給したらパチンコや競輪、タバコなどギャンブル・娯楽に使ってしまい、そのせいで生活が苦しいと言う始末です。恐らく、計画が立てられない、計算が出来ない人なんだなと思っています。お金を渡すだけではなく、そのお金をどのように使っていけば困窮せずに日々暮らせるのかを考える手助けが必要なのかなと思います。生活保護費をそのように使われると、正直モヤモヤしてしまいます。遊ぶためのお金を捻出しているわけではないのに、と。このように、基本の「き」がわからない受給者に対する支援も必要かと思います。既に制度があったらスミマセンが、必要な人に制度が認知されなければ意味がないと思います…。

一般的に生活保護受給者のイメージが良くないと思います。受給理由や年齢層、自立支援内容、どれくらい生活保護から抜け出せているのか等の実態を知る機会があれば良いと思いました。

自立を支援する目的なのに、自立された実績が見えないため、保護を受けていないものからすると、何にいくら使われていてそれがどういった効果をもたらしているかが見えないと、モヤモヤはする。

生活保護・生活困窮者自立支援（税金未納者）への救済措置としては職に就ける（納税者になれる）支援を優先してもらいたいと思います。生活費の支給については、今まで市税を納めてきた高齢者への対応を優先すべきだと思います。

生活保護・生活困窮者といっても、甘えでそうなっている人もいれば、どうしても頼らざるを得ない人もいて…もっと厳しい基準のものにならないのかなと思います。今現在自分に関係がないから、そう思えるだけで実際に当事者になれば厳し過ぎる基準も困るだろうし、本当にこればかりは難しい問題だと思います。ただ、今後自分達で何とかやっていってもらうための制度であるなら、大事な制度であると思います。

医療機関で働いていますが、働けそうなのに楽をするために働くことなく生活保護を受けているのでは、と思うことがあります。まじめに国民年金を払っていても生活保護者以下の受給額しかもらえないこともあるようで、今後生活保護者が増え大事な税金が流れていくのはどうかと思います。生活がぎりぎりでも必死に働いている人もたくさんいます。

生活保護受給者が、受給認定後に生活が変わったにも関わらず、受給を受け続けている話を聞く。具体的にここ能说えることは、生活保護受給者なのに車の鍵を持っている人がいるのを知っている。制度としては素晴らしいと思いますが、それを正しく使わない人がいることは残念でなりません。